学校番号	3017

令和８年度　工業科

教科	工業	科目	(学)キャリア実現	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	工事担任者 第２級デジタル通信 標準テキスト（リックテレコム）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

問題解決の過程を大切にし、主体的・体験的な学習活動を通して、それぞれの課題に取り組みながら理解を深め、目標達成に向けて努力できるよう心がける。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
電子デバイス、電子回路の知識を元に、伝送回路を理解し通信回線・ネットワークの基本的な問題を理解させる。

【思考力、判断力、表現力等】
電子通信技術の問題解決の過程、主体的な学習活動において問題などを通して理解度を深め、正しく結果を導く判断力および表現力を付けさせる。

【学びに向かう力、人間性等】
主体的に体験的な学習活動を通し、進路実現のための問題に主体的に取り組み、
積極的に問題解決できる力を身に付けさせる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	電気工学の基礎 電気通信の基礎 端末設備の技術 ネットワークの技術 情報ｾｷｭﾘﾃｨｰの技術 接続工事の技術 電気通信事業法及び 施工規則 工事担任者規則 認定等規則 有線電気通信法 端末設備等規則 有線電気通信法関連 不正アクセス行為の禁止等に関する法律 といった知識と技能の習得	電気通信の工事担任者は、電気通信回線に端末設備、又は自営電気通信設備の接続工事を行い、又は監督する役割を担っています。利用者による端末設備又は自営電気通信設備の接続は、電気通信に関する知識を要し、その良否は電気通信回線設備を通じて他に与える影響が大きいことから、電気通信回線設備の損傷及び他の利用者への迷惑を事前に防止（接続の技術基準を確保）するとともに、人体の保護を確実ならしめるため、その資格を認定するに値する工事を行える思考と判断力を身に着ける。	工事担任者第 2 級デジタル通信がデジタル伝送路設備に端末設備等を接続するための工事であることを認識し、現代社会において生活の中に必要なものであることを意識して自ら積極的に資格取得に向けて学習に取り組んでいる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期2学期3学期		電気工学の基礎 電気通信の基礎 端末設備の技術 ネットワークの技術情報 ｾｷｭﾘﾃｨｰの技術 接続工事の技術 電気通信事業法 及び施工規則 工事担任者規則 認定等規則 有線電気通信法 端末設備等規則 有線電気通信法関連 不正アクセス行為の 禁止等に関する法律	a:電気工学の基礎から不正アクセス行為の禁止等に関する法律といった知識と技能を習得している。 b:電気通信の工事担任者は、電気通信回線に端末設備、又は自営電気通信設備の接続工事を行い、又は監督する役割を担っています。利用者による端末設備又は自営電気通信設備の接続は、電気通信に関する知識を要し、その良否は電気通信回線設備を通じて他に与える影響が大きいことから、電気通信回線設備の損傷及び他の利用者への迷惑を事前に防止(接続の技術基準を確保)するとともに、人体の保護を確実ならしめるため、その資格を認定するに値する工事を行える思考と判断力を身に着けている。 c:工事担任者第 2 級デジタル通信がデジタル伝送路設備に端末設備等を接続するための工事であることを認識し、現代社会において生活の中に必要なものであることを意識して資格取得に向けて意欲的に学習に取り組んでいる。	小テスト	小テスト 課題	授態度 発表 意欲 積極性

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度